

ヒト由来のカルボキシルエステラーゼIアイソフォームb、組換え

Cat. No. NATE-1915

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 カルボキシルエステラーゼ1は、大規模な多遺伝子カルボキシルエステラーゼファミリーの一

員です。これらの酵素は、コカインやヘロインなどのエステルおよびアミド結合を含む□物の加水分解を担当しています。また、長鎖脂肪酸エステルやチオエステルも加水分解します。この酵素は、芳香族および脂肪族エステルを加水分解することが知られており、細胞内コレステロールのエステル化に必要です。また、肺における解毒や、エステルまたはアミド化合物から

中枢神□系を保護する役割を果たす可能性もあります。

用途 高い触媒活性を提供し、□物相互作用研究やプロドラッグおよび非**CYP**排除□路の評価のための

□理動態研究を含む、堅牢なハイスループットスクリーニングアッセイに最適です。

別名 EC 3.1.1.1; エステラーゼアイソザイム 1; 9016-18-6; カルボキシルエステラーゼ; アリエス

ラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; コカインエステラーゼ

製品情報

種 人間

由来 バキュロウイルスに感染したBTI昆虫細胞

形態
液体

EC番号 EC 3.1.1.1

CAS登□番号 9016-18-6

活性 ≥500 ユニット/mg タンパク質

濃度 5 mg/ml

単位定義 1ユニットは、 37° CでpH 7.4の条件下で1分あたり1ナノモルの4-ニトロフェニルアセテート

を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -70°Cで